

Affinityとは？

- プロ向けデザインツール群のひとつ
- Adobe Creative Cloudの製品の代替としても利用可能

製品名	相当するAdobe製品	用途
 Affinity Designer	 Illustrator	ベクターグラフィック（ロゴ制作等）
 Affinity Photo	 Photoshop	画像編集・写真加工
 Affinity Publisher	 InDesign	ページレイアウト（冊子等）

Affinityとは？

特徴

- プロフェッショナル向けの高機能
- Windows、macOS、iPadOSに対応
- 買い切り型でそこそこ低価格（だった）
 - 買い切り10,000円程度
 - 参考) Adobeは月額3,000円程度
- AdobeのPSDファイル、AIファイルとの互換性◎

→ Adobeほどのコストをかけずに使えるプロ向けデザインツール

有料ツールが無料化...？

- なぜ無料化できたのか？
- 裏があるのでは？



なぜ無料化できたのか？

背景

01

2024年3月

CanvaがAffinityを買収

.....



02

2025年10月30日

Affinity完全無料化を発表

i Canva とは？

- Webブラウザでも使えるカジュアル層向けデザインツール
- 年間売上 **35億ドル** (約5,000億円)
- 有料ユーザー **2,800万人**

▼ logo

→ この収益基盤があるからAffinityの無料化が可能

裏はないの？

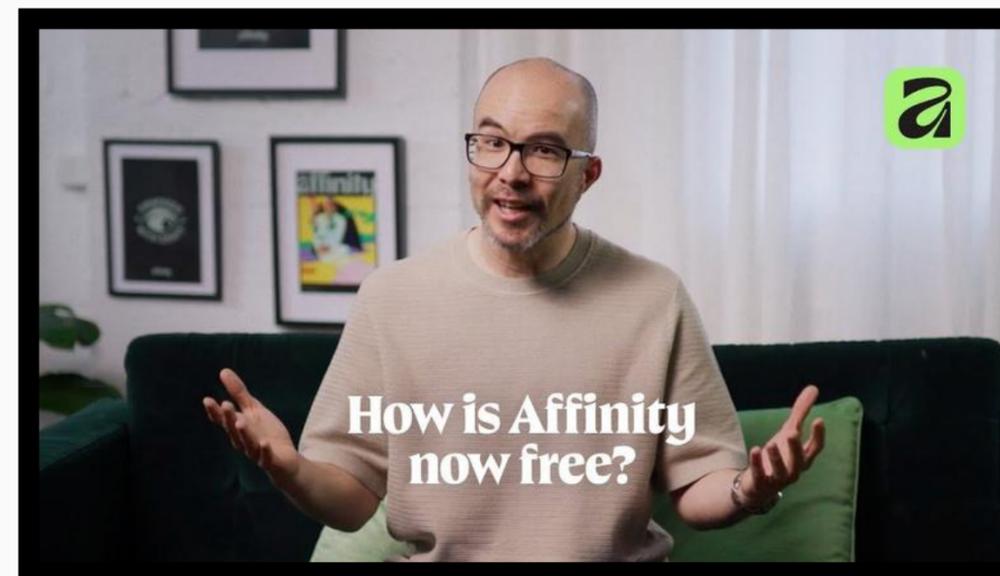
“

"Let me be absolutely clear: There is no catch."

「はっきり申し上げます。裏はありません」

→ Affinityはプロジェクトデータの管理はローカル保存が基本

- ユーザーのデータは販売しない
- ユーザーのファイルでAIを学習させない
- ユーザーの見えないところで収益化しない
- 「あなたの作品は常にあなたのもの」



How is Affinity now free?

裏はないの？

“

"This isn't a marketing stunt. It is a long-term bet on creative freedom.

「マーケティングの策略ではなく、創造的自由への長期的な賭けです」

→ 無料化は一時的なプロモーションではなく、持続的な方針であることを強調

Affinityのアップデート詳細① - 無料化

プラットフォーム

- Windows、macOS対応済み
 - iPad版も近日公開予定
(現在はアップデート前のアプリが無料でインストール可能)
-

利用条件

- Canvaの無料アカウント登録が必要 (無料)
-

提供内容

- 基本機能はすべて無料
 - 制限なし
 - 今後のアップデートも無料
 - 商用利用可能
-

Affinityのアップデート詳細② - 追加機能

単なる価格変更だけでなく、Affinity自体にも大きな変更

- 統合アプリケーション化
- AI機能の統合

Affinityのアップデート詳細③ - 統合アプリケーション化

3つに分かれていたアプリが1つにまとまることで作業効率の大幅な向上が見込める

アップデート前



- Designer、Photo、Publisherは別々のアプリ
- それぞれを開く必要があった



アップデート後



- 3つの製品を1つのアプリに統合
- 単一アプリ内で3つのモード切り替え
 - ベクター編集モード
 - 写真編集モード
 - レイアウトモード



Affinityのアップデート詳細④ - AI機能の統合

Canvaプレミアムユーザー向けのAI機能も追加

- 背景除去
- 生成塗り
- その他のAI支援機能

i AI機能について

デザインツール業界全体でAI活用が進行中

- Adobeも「Adobe Firefly」でAI機能を展開

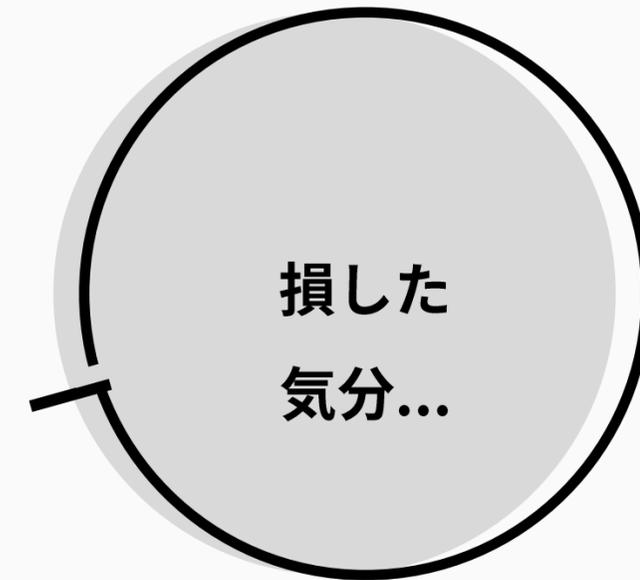
Affinityの立ち位置

主要デザインツール

名前	特徴
Adobe Creative Cloud	業界標準（月額制）
Affinity	プロ向け代替ツール（今回無料化）
Canva	カジュアル向け、テンプレートが充実
その他	（Figma、オープンソース系など）

(余談) 既存購入ユーザーへの対応

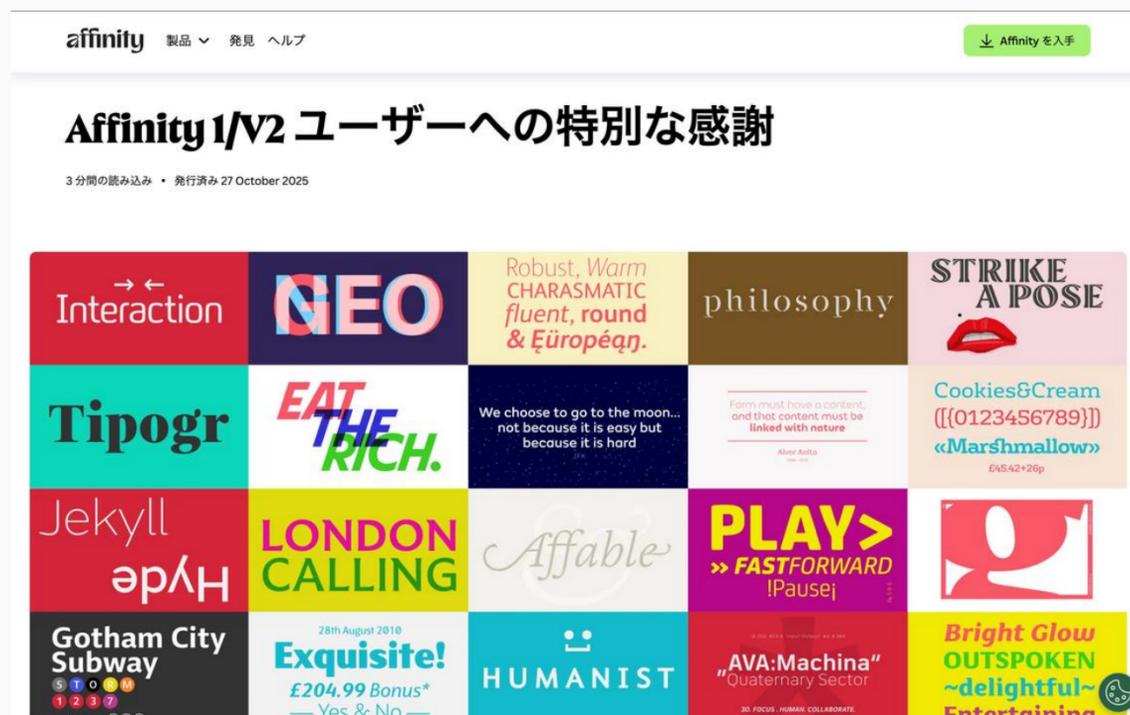
無料化に対する複雑な反応



(余談) 既存購入ユーザーへの対応

Affinityの対応

- ・ フォントコレクション無料提供
 - 2025年11月1日以前にAffinityを購入したすべてのユーザーが対象
 - 41フォントファミリー、442フォントスタイル
 - 通常購入すると1,000ドル相当



まとめ・感想

まとめ

- ・ 2025/10/30からAffinityが無料化
- ・ 無課金ユーザーにとってのデザインツールの選択肢が増えた
- ・ ベクター編集、写真編集、レイアウトをシームレスに切り替え可能に

感想

- ・ 個人的にAI・PSDファイルの編集がたまに発生するため、
そのたびに課金する必要がないのはとてもありがたい
- ・ これからもAffinityの動向を注視したい

